

いつもお世話になっております。

今月分の請求書を送付いたしますので、何卒御査収のほどよろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。  
急激に涼しくなりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

台風18号が大きな爪あとを残し、とつぜん秋が深まりました。  
台風の被害に見舞われた皆様にお見舞い申し上げます。一日も早く平穏な日々が戻りますよう祈ります。

先日、ジブリ映画「風立ちぬ」を観てきました。  
実在の人物「堀越 二郎」のエピソードにオリジナルのストーリーを盛り込んだ話で、大正時代の関東大震災から第二次世界大戦までの時代が描かれていました。  
幼いころから飛行機的设计士になることを夢見た二郎は、大学で航空工学を学び、卒業後、飛行機製造会社に就職します。  
そのころの日本はまだ貧しく、技術は欧米から20年遅れです。  
軍からの無謀とも思える要請に、失敗と改良を重ねながら、戦闘機を完成させていきます。  
自分の作った飛行機が爆弾をつんで飛ぶこと、飛んでいった飛行機は戻っては来られないこと、結果、国を滅ぼすであろうことは十分に理解していました。それでも、「美しい飛行機をつくりたい」という自分の夢に真直ぐに突き進んだ青年の話でした。

いま、わたしたちの住んでいる世界は、昔の人の「夢の結晶」の集合体です。先人達がどこかであきらめていれば、いまの物質的な繁栄はなく、どんな物も（今では有害だといわれるものでさえも）誰かが「もっとよくしたい」と夢見て、途方も無い労力を費やし、具現化したのです。  
どんな物にも、良い側面と悪い側面があるものですが、悪い面ばかりを取り上げて非難するばかりでは、夢を現実化することは出来ません。  
現実化したものを「どう使うのか?」、そして「次の未来に何を夢みるのか?」それが今を生きる人の使命なのだ。  
・・・と、そんなことを思いました。

わたしには飛行機を作るような大きな夢はありませんが、ひとりひとりが小さな夢を実現することは、未来に小さな変化を起こすことができるかもしれませんよね。

10月のはじめくらいまでは暑いだろうという憶測は大外れで、朝晩はずいぶん肌寒く感じます。  
夏の疲れがでませんように、くれぐれもご自愛くださいませ。



2009年にスタートした伊勢神宮125社めぐり。  
内宮と周辺の神社をめぐり、  
ついにコンプリートしました。



新しい御正宮  
あたらしく材木の香りがあたりに漂っていました



内宮駐車場の奥、大水神社の力強いくすのき。  
根っこが石垣や階段をのみこんでいます。

株式会社ユニコーン  
大阪市中央区大手通 1-1-2  
TEL.06-6943-4560  
FAX.06-6920-5311